

日置川水系河川整備計画(原案)に対するご意見と県の考え方について

No.	ご意見	ご意見に対する県の考え方
1	<p>○整備計画の目標について 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標については、「既往最大洪水の次に大きな平成2年9月洪水や平成23年9月洪水と同規模の洪水に対して、家屋浸水被害が生じることのないよう治水安全度の向上を図る」とあり、家屋浸水被害だけが書かれていて、農産物被害については一言も触れていない。白浜町田野井地区では、毎年のように支川から排水できないことによる田畑の浸水被害が起こっている状況である。</p> <p>整備計画において、河道掘削が計画されているが、田野井地区にとっては毎年冠水（排水が十分でない）することになり、何ら根本的な解決にはならないと考えます。</p> <p>日頃は豊かな自然を楽しみ、子どもたちとも楽しく遊べ、学習の場となる日置川であるが、一度暴れると手がつけられない状況となる。是非、対策をお願いしたい。</p> <p>○今後の津波対策について 田野井地区は、少し下流で川が90度曲がっているため、津波の規模によっては相当な被害が出るものと予想される。</p> <p>最新の知見を反映し柔軟な対応を行うと書かれているので、是非、対策をお願いしたい。</p>	<p>ご意見頂きました農地に対する浸水被害を軽減することは重要なことであり、長期的な計画である日置川水系河川整備基本方針の中では、既往最大洪水に対して、農地も含め浸水被害の軽減を目標としているところです。しかしながら、その整備には多大な費用と期間を要することから、今回ご提示した今後概ね20年の計画である日置川水系河川整備計画については、県内の他河川と同様に、まずは「早期に一定の整備効果を発現させるための段階的な整備として、既往最大洪水に次ぐ規模の洪水に対して、家屋浸水被害を解消すること」を目標とし、河道掘削等を行っていきたいと考えております。これにより、洪水時において日置川本川の水位低下が図れることから、支川の排水改善が期待され、農地についても浸水被害が軽減されるものと考えておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>また、田野井地区については、東海・東南海・南海3連動地震で発生が予想される津波に対しては浸水被害が発生しないと想定されるため、具体的な津波対策は予定しておりませんが、今後の状況を見極めながら、必要に応じて対策を検討していきます。</p>
2	<p>第4章にあるように、特に河道の維持、河道管理施設（堤防、護岸）の維持について、巡視や点検が実施されるようお願いしたい。</p>	<p>河川管理施設の維持については、洪水等に対して所要の機能が発揮されるよう、機能の低下を防止するための修繕（長寿命化等）を行うとともに、施設自体の質的低下を防止するための補修等の対策を行うため、平常時の巡視や点検時に施設の損傷等の確認に努めてまいります。</p>